

神戸大学附属中等教育学校創立 10 周年

「探究の力を育む課題研究」(学事出版)の出版

神戸大学大学院人間発達環境学研究科の林 創 (はやし はじむ) 准教授と神戸大学附属中等教育学校は、附属中等教育学校の「課題研究」の指導の様子とその成果をまとめた書籍「探究の力を育む課題研究—中等教育における新しい学びの実践—」(学事出版)を刊行いたしました。

神戸大学附属中等教育学校は、神戸大学の附属学校の再編により、2009年度に中高一貫の学校として創立されました。その当初から「総合的な学習の時間」を「Kobe ポート・インテリジェンス・プロジェクト」(KP)と称して、**「探究」の学習プロセスを通して、研究手法(リサーチリテラシー)を育成する6年一貫の指導**を行ってきました。**「課題研究」は、その集大成の場であり、生徒は実に1年半をかけて、個人でテーマを決め、データを収集して整理・分析・検証し、論文(18,000字以上)を執筆して、発表する**という大掛かりなものです。

新学習指導要領では、高等学校での「総合的な学習の時間」は「総合的な探究の時間」となるように、**「探究」は新しい学びを代表するキーワード**です。附属中等教育学校は2015年にスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定校となりましたが、SGHでは課題研究を中心的プログラムと位置づけています。このため、新学習指導要領やSGHの指定を受けたことは、本校の探究の学習にとって「追い風」となりました。その**指導の成果は、「全国学芸サイエンスコンクール」(旺文社主催/内閣府・文部科学省・環境省後援)で「内閣総理大臣賞」を受賞**するなど、さまざまな形で現れています。また、課題研究の取組が適合する大学入試も増え、**課題研究で力をつけた生徒が難関大学(東京大学, 京都大学, 大阪大学, 神戸大学など)やアメリカの名門大学(プリンストン大学など)に続々と合格**するようになりました。全国的にも中等教育において探究の指導が求められるようになり、神戸大学附属中等教育学校の課題研究は、**先進的事例として全国の高校の注目を浴びる**ようになっています。

そこで、創立10周年にあわせて、神戸大学附属中等教育学校の課題研究の指導の詳細と生徒の成長の様子をまとめ、全国の探究指導および課題研究の取組の参考になることを目指して、書籍「探究の力を育む課題研究—中等教育における新しい学びの実践」(学事出版)を刊行いたしました次第です。

目次等の詳細は裏面をご参照ください。

連絡先:

神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授 林 創

E-mail: hajimu@port.kobe-u.ac.jp 078-803-7701

神戸大学附属中等教育学校 研究部主事・グローバル教育推進室長 指導教諭 岩見理華

E-mail: r-iwami@people.kobe-u.ac.jp 078-811-0232

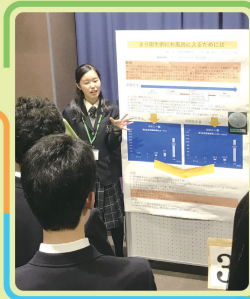
探究の力を育む 課題研究

中等教育における新しい学びの実践

探究の力を育む 課題研究

中等教育における新しい学びの実践

林 創
神戸大学附属中等教育学校
[編著]



主題：卒業研究一次論文講座の発表。
ねらい：発表者は研究内容を分かりやすく伝えることができる。
関心は主体的に関心。論理性・根拠の妥当性を検討することができる。

林 創 神戸大学附属中等教育学校 [編著]

A5判 220ページ 定価(本体2,200円+税)
ISBN978-4-7619-2543-7

高等学校新学習指導要領では、「総合的な探究の時間」をはじめ各教科においても探究学習が重要視されているが、課題研究を10年前から開設し、早くから探究学習に取り組んできた神戸大学附属中等教育学校の先導的実践を紹介。全国の課題研究の取組の参考になる一冊。

目次

- 第1章 探究(課題研究)とその背景
- 第2章 新しい学びとしての探究
- 第3章 神大附属の課題研究(卒業研究)の概要
- 第4章 オリエンテーションとテーマ設定
- 第5章 課題研究の指導
- 第6章 課題研究の評価
- 第7章 発表会
- 第8章 課題研究の成果と大学入試・大学での学びへのつながり
- 第9章 課題研究の効果の検証
- 第10章 卒業論文とポスターの例